

研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

大動脈弁狭窄症に対する経胸壁心エコー図検査時の右傍胸骨アプローチの有用性～心電図同期造影心臓CTの3次元解析に基づく検討～

1. 研究の対象および研究対象期間

2019年9月～2023年6月までに昭和大学病院にて重症大動脈弁狭窄症が疑われ心臓超音波検査と心電図同期造影心臓CTを施行した患者さん

2. 研究目的・方法

心臓超音波検査は大動脈弁狭窄症患者における重症度評価において重要な検査ですが、ドプラ法での大動脈弁通過血流速度(A-Vmax)測定ではアプローチ方法で重症度が変化することがあります。このためA-Vmaxの計測は多断面から観察することが推奨されており、特に右傍胸骨アプローチは心尖部アプローチに比してA-Vmaxの最大値を検出しやすいとされます。アプローチ部位の違いによるVmaxの差の要因のひとつとして左室流出路と大動脈起始部の角度がより鈍角になることが報告されていますが、解剖学的に3次元的考察がなされた研究はありません。本研究では心臓超音波検査時の右胸骨アプローチがA-Vmax測定において他のアプローチよりも優位になる解剖学的条件を心電図同期造影CTの3次元的解析と比較することで明らかにする事を目的とします。

重症大動脈弁が疑われ、心電図同期造影心臓CT検査と心臓超音波検査を行った患者さんにおいて、右傍胸骨アプローチと心尖部アプローチでのA-Vmaxの差異とCTで3次元的に解析した左室流出路と大動脈起始角の関係性を検討します。さらに患者背景データ(採血、カルテ内容など)を電子カルテから抽出し、その関連性も検討させていただきます。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年10月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

心臓超音波所見、心電図同期造影心臓CTデータ、患者背景(年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬)、採血(血算、肝機能、腎機能、BNP)臨床検査項目、バイタル(血圧、脈拍)に関

する数値とします。

年齢、性別以外に個人的な情報（生年月日、住所、家族構成）は扱いません。

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6．研究組織

研究責任者

研究機関名 昭和大学病院 循環器内科

氏名 望月 泰秀

研究分担者

研究機関名 昭和大学病院 循環器内科

氏名 横川 大介

研究機関名 昭和大学病院 臨床病理検査室超音波検査部門超音波検査室

氏名 黒木 唯

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 循環器内科

氏名：望月泰秀

住所：〒142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号： 03-3784-8000